

第16期第8回常任理事会議事録

日時 昭和46年4月6日(火) 15.00~18.00

場所 気象観測部会議室

出席者 山本, 大田, 岸保, 関口, 川村, 大井, 小平,
神山, 駒林, 関原, 北川, 各常任理事

列席者 鈴木, 中村庶務委員

報告抜萃

[庶務]

1. 3月31日付け青木滋一理事から理事解職願がきた。(議題とする)

2. 4月5日(財)松永記念科学振興財団理事長から昭和46年度松永賞贈呈候補者推せんの依頼がきた。メ切6月30日

3. 3月9日全理事に対し昭和46年度学会賞, 藤原賞候補者について書面審査を依頼した。

結果 学会賞 光田 寧 可25 未回答1

藤原賞 福井英一郎 可25 未回答1

4. 3日9全理事に対し昭和46年度総会提出議題について書面審査を依頼した。

結果

国際放射シンポジウムを日本気象学会が主催する件
可 25 未回答 1

日本気象学会の国際交流に関する長期計画を立案する件

可 22 否 1 白紙 2 未回答 1

[会計] 昭和46年度予算案の outline を提出したが, 最終的な予算案を次回5月10日の常任理事会に提出する予定。

[天気] 3月号の内容紹介

[講演企画] 3月25日東大海洋研究所で行なわれた昭和46年度春季講演会は出席者は少なかったが, 討論は割合活発であった。

[学会会議] 1. 沖縄の科学者に選挙権を与えることについては, 自民党の内閣委員会で問題が出て未だ決定しなかった。

2. Royal society と日本学会会議, 日本学士院との間に人事交流を含めて取りきめができた。

[外国文献集] 換載論文の許可の返事が大部分きたので間もなく刊行の運びである。

[正野記念論文集] 20~30論文で200~300ページの予定。

[地物研連] IUGG 総会について, 会員出席数, その他について報告。学術会議南極特別委員会より第14次隊気象研究観測隊員の推せん依頼があった。

議 題

1. 昭和46年度総会準備について

(1) 理事長挨拶要綱案

原案了承。

(2) 昭和46年度事業経過報告案

原案了承

(3) 昭和46年度事業計画案

原案了承

2. 正野記念論文集について

準備委員会は任務を終了したので新たに編集委員会として発足させる。山本理事長を委員長とし, 岸保, 窪田関口, 松野, 曲田の各氏を委員にお願いする。

事務局は窪田, 関口両氏担当とする。

レフェリー制とする。英文の添削に要する経費については各自負担とするが一部学会の負担も考慮する。刊行は9月頃の前定。

以上については全国理事会に提案する。

3. 予算案

(1) 大会費用は秋季30万円, 春季15万円とする。

(2) 支部交付金は基本金1万円増額, 人頭割20円増額を原案とし支部の意見をきく。

(3) 天気と集誌の印刷編集費の計上のしかたの再検討。

主として以上の点について議論され, さらに検討を加えて, 次回の常任理事会で審議する。

4. 気象学入門講座(天気連載のもの)の価格は実費と送料を含む定価とする。

5. 青木滋一理事の理事解職について

辞意が固いと思われるので辞職を認める。次点者がないので欠員とする。

以上については次回の全国理事会に提案する。

承認事項

通常会員, 渡辺俊夫他19名の入会を承認。